

ハイテク潜行化が進むノミ屋

～衛星放送を使った場外でのノミ行為など手口は巧妙化～

2006年2月20日(月)

B R I C s 経済研究所 代表 門倉 貴史

～要 旨～

E-mail: postbrics@yahoo.co.jp

ノミ行為とは、公営ギャンブルの主催者である国や地方自治体になり代わって、馬券や車券、舟券の投票受付を競技場の内外で行うことをさす。もちろん、これは競馬法などで禁止された違法行為である。

ノミ屋に客が集まってくる主な理由としては、次の3点が挙げられる。まず第1に、最大の理由として挙げられるのは公営ギャンブルの控除率が高すぎることである。日本の公営ギャンブルの控除率は25%だが、ノミの場合は10～15%程度とずっと低い。第2に、競技場や場外馬券売場までの距離が遠いケースでは、正規の窓口買いに出かけるよりも、場外のノミ屋を利用したほうが便利となる。第3に、ツケが利くことである。ノミ屋では、当座の現金がなくても、レースに参加することが可能で、後で一括して決済することができる。

一昔前には、ノミ屋の商売は大繁盛で、胴元の1日の売上高が500～1000万円近くになることもあった。この売上高のおよそ3割が胴元の収益となっていたと考えられる。一説には、公営ギャンブルの売上高の1割はノミ屋の収入になっていたともいわれる。

しかし、90年代以降は、警察の取り締まりの強化や公営ギャンブル主催者側の排除運動の活発化により、ノミ行為を資金源とする暴力団関係者の競技場への入場が阻止され、競技場内でメモや現金の受け渡しを行うノミ屋の姿はほとんど姿を消すようになった。検挙件数の推移から判断すると、ノミ行為は衰退しているように見えるが、その裏で衛星放送を使った場外でのノミ行為が活発化するなど手口が巧妙化しており、取り締まりをするのが難しくなっているというのが実情のようだ。

競馬、競輪、競艇といった公営ギャンブルに寄生するノミ屋。ノミ行為とは、公営ギャンブルの主催者である国や地方自治体になり代わって、馬券や車券、舟券の投票受付を競技場の内外で行う(胴元になる)ことをさす。もちろん、これは競馬法などで禁止された違法行為である。

レース運営や施設の維持は国や地方にまかせておいて、利益だけはもってってしまうのだから公営ギャンブルの主催者側にとってみれば、たまったものではない。

ノミ屋に客が集まってくる主な理由としては、次の3点が挙げられる。

まず第1に、最大の理由として挙げられるのは公営ギャンブルの控除率(テラ銭の割合)が高すぎることである。日本の公営ギャンブルの控除率は25%だが、ノミの場合は10～15%程度とずっと低く

なっている。

第2に、競技場や場外馬券売場までの距離が遠いケースでは、正規の窓口で買いに出かけるよりも、場外のノミ屋を利用したほうが便利となる。たとえば、横浜市内に在住する競馬・競輪ファンは、となりの川崎競輪であれば直接競技場まで行って正規の投票券を買い求めるが、千葉の中山競馬や埼玉の西武園競輪では距離が遠くなってしまうので投票窓口には行かずに、ノミ屋を利用するといった具合だ。

第3に、ツケが利くことである。ノミ屋では、当座の現金がなくても、レースに参加することが可能で、後で一括して決済することができる。

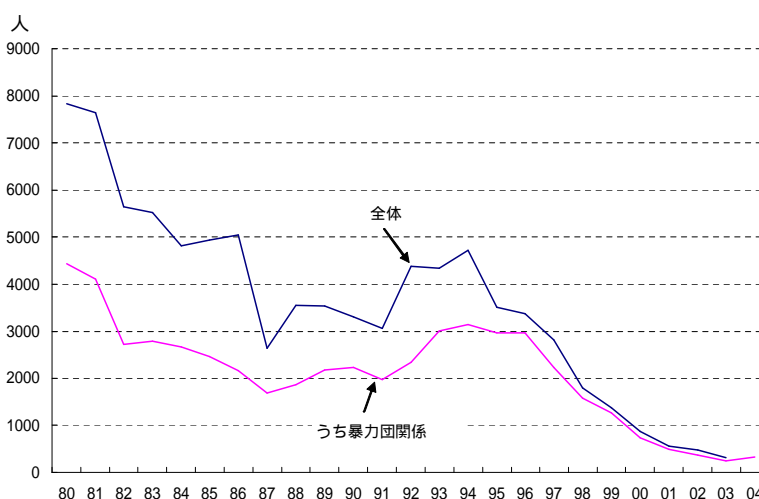
一昔前には、ノミ屋の商売は大繁盛で、胴元の1日の売上高が500～1000万円近くになることもあった。

この売上高のおよそ3割が胴元の収益となっていたと考えられる。一説には、公営ギャンブルの売上高の1割はノミ屋の収入になっていたともいわれる。この説が正しいとすれば、89年における公営ギャンブルの売上高は7兆1510億円であったから、ノミ屋の収入は7151億円にも上っていたことになる。また、ノミ屋の内訳については、およそ7割が競馬、2割が競輪、残りの1割が競艇とされる。

しかし、90年代以降は、警察の取り締まりの強化や公営ギャンブル主催者側の排除運動の活発化により、ノミ行為を資金源とする暴力団関係者の競技場への入場が阻止され、競技場内でメモや現金の受け渡しを行うノミ屋の姿はほとんど姿を消すようになった。

実際、警察庁の資料によると、公営競技場でのノミ行為の検挙件数はずっと減少傾向をたどっている(図表参照)。

図表 ノミ行為の検挙人員



(出所)警察庁資料

検挙件数の推移から判断すると、ノミ行為は衰退しているように見えるが、その裏で衛星放送を使った場外でのノミ行為が活発化するなど手口が巧妙化しており、取り締まりをするのが難しくなっているというのが実情のようだ。

最近では、喫茶店やお好み焼き屋といった飲食店やマンションの一室を胴元が占拠し、インターネットや携帯電話を利用して連絡をとるケースが増えているという。

たとえば、ある胴元はマージャン店に設置したケーブルテレビで競馬中継を放映し、これをもとにして、サラリーマンなどから投票の受け付けを行っていた。また、インターネット上で馬券の投票を代行するとうたったホームページもたくさん現れている。

警察側もレースの時間に電話回数が多くなっているマンションを徹底的に調べるなど対策を強化しているが、ノミ行為の潜行化は進むいっぽうだ。